

医療現場を脅かす電磁干渉: 事例集から学ぶ電磁ノイズ対策の重要性

Keith Armstrong

はじめに

長 年 EMI に関する記事を集め、その多くを EMC ジャーナル の「Banana Skins (予期せぬトラブル、落とし穴の意)」コラムに掲載してきた。数あるエピソードの中には公式報告あり、匿名の内部告発者からの事例あり、微笑ましい話から死亡や負傷に関するものまである。

Banana Skins : <https://www.emcstandards.co.uk/banana-skins>
現時点で 855 件が公開されていて、用途および EMI の種類別に検索可能で、全記事、<https://www.emcstandards.co.uk> からダウンロー

ドできる。最近、医用 EMI に関する全事例を集めてみると 41 ページ分になった。ここでいくつかを紹介する（番号は元コラムのまま残した）。

【事例3】救急車内の RF 干渉が死因に

1992 年、心臓発作を起こした患者を病院に搬送した医療技術者が患者の女性にモニタ／除細動器を装着した。不運なことに、医療技術者が助言を求めて無線送信機をオンにするたび心臓モニタなどが停止し、その結果、女性は死亡した。

